

犯罪のない安全・安心まちづくり情報誌

Vol.

20

平成20年7月発行

くらし 安全通信

神奈川県 安全防災局
安全・安心まちづくり推進課

電話 045(210)1111

(内線3507・3515)

FAX 045(210)8953



ホームページ
<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/anzenansin/anzennindex.htm>

神奈川県あいさつ一新運動
地域の安全・安心はあいさつから

8月1日(金) 10時より、 子ども安全一斉キャンペーンを実施します!

実施
場所

JR線桜木町駅前広場、ラゾーナ川崎ルーファ広場入り口(JR線川崎駅)、JR線逗子駅前、京急線新逗子駅前、ピナウォーク(小田急線・相鉄線海老名駅)、さがみはら北の丘センター、さがみはらグリーンプール、小田急線湘南台駅地下通路、小田急線開成駅前 など



(写真:羽沢三枚地区防犯対策推進委員会(横浜市)の子ども見守り活動の様子)

夏休み中の子どもの安全対策について

夏休み期間中は、子どもたちにとって大変嬉しい時期です。

夏休みになると子どもたちの行動範囲が広がり、開放感から事故や事件に巻き込まれたりすることがあります。家庭の中での話し合いでルールをつくり、楽しい夏休みを過ごしましょう。



✓ ご家庭でのチェックシート

- 一人で遊ばせていませんか。
- 知らない人には絶対ついていかないように言っていますか。
- 外出先を確認していますか。
- 塾帰り等、夜の一人帰りは避けていますか。
- 深夜に外出させていませんか。
- 身の危険を感じたら「大声で叫ぶ」「逃げる」等言っていますか。

地域で出来ること

子どもを犯罪から守るため、地域全体で子どもを見守る目を増やすことが大切です。現在、子どもの登下校を見守る活動が多く地域で実施されています。

振り込め詐欺 犯罪防止特別宣言！

松沢知事は、急増する「振り込め詐欺」を根絶するため、神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり推進条例に基づき「振り込め詐欺」犯罪防止特別宣言を発表しました。県は、関係機関と積極的に連携し、被害防止対策に取り組みます。

「振り込め詐欺」犯罪防止特別宣言

本年の神奈川県における「振り込め詐欺」の被害は1,200件を数え、早くも昨年1年分の件数を超える事態となっています。また、被害額も20億円を突破し、1日平均では、およそ1,200万円の県民の大切な財産が奪われています。

身内や役所などを名乗って信用させる「振り込め詐欺」の手口は日々巧妙になってきており、そうした犯罪の存在自体をよく知っている方でも被害を避けきれなかったケースが数多く見受けられます。

私たちは、人の情や不安につけ込むこうした卑劣な犯罪を断じて許すことはできません。

そこで、「振り込め詐欺」に遭わないために、私から3つのお願いをすることとしました。

多くの県民が危険にさらされているこの異常事態を一刻も早く解消し、「振り込め詐欺」被害を根絶するため、神奈川県は、県警察とともに「振り込め詐欺」の防止に全力で取り組むことをここに宣言します。

平成20年6月26日
神奈川県知事 松沢 成文

知事からの3つのお願い

～「振り込め詐欺」に遭わないために～

1 家族だけの「合い言葉」を決めましょう

家族だけで通用する合い言葉を決めておくことは、子どもや孫へのなりすましを見破るよい方法です。お互いに顔を合わせて、「合い言葉」を決めておきましょう。

2 「電話番号が変わった」と知らせてきたら、前の番号に確認しましょう

「電話番号が変わった」という電話がかかってきたら、以前の電話番号に必ず連絡してみましょ。

3 電話で「お金」の話が出たら、振り込め詐欺だと思いましょ

電話で「お金」の話が出たら、「振り込め詐欺かもしれない」と考えて、家族や周りの方に相談するか、すぐに近くの警察に連絡しましょう。

神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり推進協議会総会を開催しました

(平成20年6月16日(月)13時より、横浜市社会福祉センター・ホールにて)

県民、地域団体、事業者、行政機関等が協働して安全・安心まちづくりを目指した県民総ぐるみの運動を展開する推進母体である「神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり推進協議会」の平成20年度総会を下記のとおり開催しました。



小泉 森三氏

地域との連携を強化するため、新たに各地域で安全・安心まちづくりに取り組む18の地域推進協議会が構成団体に加わりました。(写真(左)は代表して挨拶をする伊勢原市地域防犯推進協議会副会長の小泉森三氏。)



会長(松沢知事)



副会長(田端県警本部長)



神奈川県被害者支援センター



中田連合自治会(泉区)



講師 梅本 正行氏

活動事例報告では、神奈川被害者支援センターと中田連合自治会(横浜市泉区)が、平成19年度パイロット事業補助金を受けて実施した活動について発表を行いました。

防犯講演会では、NPO法人日本防犯学校学長・梅本正行氏より、身近にひそむ犯罪と防犯のアドバイスについて、具体的な事例を交えたお話をいただきました。

「犯罪被害者等支援条例(仮称)」の 基本的考え方についてご意見をお寄せください

— 犯罪被害者等を温かく支える地域社会を目指して —

県では、犯罪被害者等の方々への支援施策の充実と「犯罪被害者等支援条例(仮称)」の制定に向けて検討を進めており、このたび、条例の基本的考え方を取りまとめました。県民の皆様からのご意見を条例に反映していきたいと考えておりますので、ご意見を提出くださるようお願いします。

意見募集期間

平成20年7月11日(金)から8月15日(金)まで

資料(条例の基本的考え方)の配布先

安全・安心まちづくりセンター、県政情報センター、
各地域県政情報センター等

ご意見の提出方法

「犯罪被害者等支援条例について」と明記して、県安全・安心まちづくり推進課まで以下のいずれかの方法でご提出ください。

- ①郵送 231-8588(住所不要)
- ②ファックス 045(210)8954
- ③電子メール 県のホームページからフォームメールを利用

ご意見への対応

皆さんからいただいたご意見は、犯罪被害者等支援条例(仮称)の素案を作成するうえでの参考とさせていただきます。また、後日、ご意見に対する県の考え方を一覧表に取りまとめて、県のホームページをはじめ、安全・安心まちづくりセンター、県政情報センターなどで公表する予定です。(個別の意見に対する回答はいたしませんのでご了承ください。)

問い合わせ先

神奈川県安全防災局安全・安心まちづくり推進課
TEL 045(210)3511(直通)
<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/anzenansin/higaisya/sienjyourei/index.html>

犯罪被害者等に関する標語募集

内閣府では、犯罪被害者等に対する支援の大切さなどを分かりやすく簡潔に表現した標語を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www8.cao.go.jp/hanzai/index.html>

神奈川あいさつ^{いっしん}新運動

—元気なあいさつで明るい地域社会をつくろう—

県では、教育や防犯の観点から「あいさつ」「声かけ」運動を進めています。

犯罪者は人目を気にし、あいさつや声かけされることを嫌うことから、あいさつは犯罪を防ぐ大きな力になります。日ごろからあいさつを皆で行い、安全で安心な地域社会を作りましょう。

「あいさつ」で
広がる人の輪 防犯網

(平成19年度「標語」コンクール優秀賞作品)

安全・安心まちづくりカレンダー

これからの県の行事予定

8月1日(金)

子ども安全一斉キャンペーン

8月2日、9日、16日、23日、30日、9月6日(すべて土曜日)

リーダー養成講座 全6回(横浜市社会福祉センター)

9月24日(水)

インターネット安全教室(横浜保育福祉専門学校)

10月10日(金)

県内一斉防犯パトロール出陣式

10月11日(土)~20日(月)

安全・安心まちづくり旬間

10月18日(土)・19日(日)

かながわ防犯フェスティバル(クイーンズスクエア横浜内 クイーンズサークル)

詳細については、安全・安心まちづくり推進課
(TEL045(210)3515)までお問い合わせください。

葉山町商工会青年部 ～地元で働く青年で何か出来ることは～

地元の子どもたちのために、積極的に防犯の取り組みを行っている葉山町商工会青年部からお話をいただきました。

横須賀三浦地域より

葉山町商工会青年部は葉山町内で事業を営む青年経営者と地域商工業の後継者を中心に組織され、葉山地域の商工業の振興発展と社会一般の福祉の増進に資することを目的に活動しています。

子どもパトロール事業

平成17年に全国各地で子どもが被害にあった事件が発生し、当青年部では葉山警察署・神奈川県くらし安全指導員を講師にお招きし、児童を対象にした犯罪についての現状を学びました。「地元で働く我々で何か出来ることはないだろうか？」と部員で考えた結果、おそろいのジャンパーを作り、仕事中に登下校の子供たちを見守る防犯パトロールを行いました。これは葉山で働く青年部でしか出来ない事業として現在まで継続して実施しています。



葉山町子ども防犯マップ

平成19年には、葉山町内の危険箇所を網羅した「葉山町子ども防犯マップ」を作成し、インターネット上で公開しました。

これは青年部員全員で葉山全町の危険箇所を調査し2年がかりで完成させたものです。

完成発表会には作成にご協力頂いた葉山警察署・神奈川県(くらし安全指導員)・町、また地元小学校のPTA会長にも出席していただきました。



青年部からのメッセージ



和田青年部長

葉山町商工会青年部の和田と申します。私たち商工会青年部は、葉山町内で仕事(しごと)をしている若者(わかもの)の団体(だんたい)で、町の活性化(かっせいか)に協力(きょうりょく)しています。また、夏には葉山の海岸でビーチクリーン(海の掃除)とビーチフラッグの大会を開催(かいさい)したり、秋の森戸神社でおこなうビッグ・ハママーケットや南郷(なんごう)公園で開催(かいさい)する葉山ふれあい夕市(ゆういち)などで縁日(えんにち)コーナーをやっています。青年部では平成17年から「こどもパトロール」として町内で防犯(ぼうはん)パトロール活動(かつどう)しています。今回、関係団体(かんけいだんたい)の協力(きょうりょく)を得て、葉山町内の危険箇所(きけんかしょ)を網羅(もうら)した防犯(ぼうはん)マップをつくりました。みんなの通学路(つうがくろ)などの危険(きけん)な場所をあらかじめ確認(かくにん)しておいてください。

(HPより抜粋)

今後は「葉山町子ども防犯マップ」の活用を地元地域に促すことや、不審者情報があった際の不審者情報メール配信事業の推進など、地域の防犯活動に努めて参ります。

葉山町こども防犯マップホームページ
<http://www.bohanmap.com/>



地域活動情報